

令和2年度事業報告

本協会は、産業廃棄物の適正な処理、資源循環の推進を一層進めていくこととし、令和2年度は、従来に引き続き産業廃棄物の適正処理対策への取組み、資源循環の推進、不法投棄の防止はもとより、労働安全衛生や地球温暖化対策の取組み、人材育成、社会貢献、災害廃棄物への対応等の事業を展開した。

より効果的な事業展開を図るために、国の機関、新潟県及び新潟市等の地方公共団体、(公社)全国産業資源循環連合会等の関係団体との連携を一層強め、的確な情報の収集を行い、会員等に対する情報提供を一層進めた。

また、新型コロナウイルス感染症の流行により、代替え手段の検討も含め、必要な拡大防止措置を講じたうえで、感染対策に十分配慮して事業の実施にあたった。ただし、一部の事業については、やむを得ず中止となった。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に対し、その状況下での産業廃棄物処理業務を遂行する上での必要情報の提供、不足する資機材の現状把握調査の実施、不織布マスクの斡旋、感染性廃棄物処理に関する県・政令市に対する緊急要望などを行い、対応を図った。

具体的には、次の事業を実施した。

1 講習会・研修会事業

(1) 産業廃棄物処理業許可申請等講習会

(公財)日本産業廃棄物処理振興センター(JWセンター)が実施する「産業廃棄物処理業許可申請等講習会」等の実施に協力した。

ア 産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会

対人を前提とした事業については、JWセンターで大幅に変更見直しがなされたことから、令和2年度はWebによる講義と会場(新潟グランドホテル)での試験を組み合わせた「二段階形式講習会」に変更された。

また、前期は、県内居住者のみを対象とした全課程の試験が、後期(10月以降)は、それぞれの課程の試験が実施された。なお、申し込みはすべてJWセンターのWebから行う方式とされた。当協会では、これらの変更に対応するため、来庁者や電話照会への対応、HP等での周知を行うとともに、試験会場での受付等を行い対応した。

期 間	講習の種類	試験日	定 員	受講数
前期	収運課程(新規)	8月4日	50	49
		8月6日	50	34
	処分課程(新規)	8月5日	15	15
	特管収運(新規)	8月5日	10	3
	特管処分(新規)	8月5日	5	1
	収運課程(更新)	8月4日	50	49
		8月6日	50	49
		8月7日	50	45
処分課程(更新)	8月7日	48	29	
後期	収運課程(更新)	11月5日	64	60
		11月6日	64	54
		3月10日	64	63
		3月11日	64	64
	処分課程(更新)	3月10日	40	39
		3月11日	40	32

イ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会

アと同様、新潟グランドホテルを試験会場にした「二段階形式講習会」の実施にあたり協力した。

試験日	定員	受講数
8月4日	50	26
8月6日	50	24
11月5日	64	20
11月6日	64	28

(2) 産業廃棄物処理に携わる人材育成

ア 産業廃棄物処理に係る新任者研修会

新入社員や新任者の人材育成を図ることを目的として研修会を開催した。

令和2年度は、感染症拡大防止対応として、開催時期を4月から8月に延期し、また会場の定員制限を考慮し2回に分けて開催した。

○第1回目

日 時：令和2年8月26日(水) 10時～16時

場 所：(公財) 燕三条地場産業振興センター リサーチコア (三条市須頃1-17)

内容及び講師：

① 産業廃棄物処理業界の概要

講師 (一社) 新潟県産業資源循環協会 専務理事

② 労働安全衛生について

講師 中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター 安全衛生管理士

③ 産業廃棄物処理の基礎

講師 (公社) 全国産業資源循環連合会 専任講師

○第2回目

日 時：令和2年8月27日（木） 10時～16時

場 所：新潟県建設会館（新潟市中央区新光町7-5）

内容及び講師：

① 産業廃棄物処理業界の概要

講師（一社）新潟県産業資源循環協会 専務理事

② 労働安全衛生について

講師 日本労働安全衛生コンサルタント会 新潟支部

③ 産業廃棄物処理の基礎

講師（公社）全国産業資源循環連合会 専任講師

参加者合計：84名

イ 産業廃棄物処理実務者研修会

実務者クラスの人材育成を目的に研修会を実施した。

開催日時：令和2年11月16日（月） 13時～16時30分

開催場所：（公財）燕三条地場産業振興センター メッセピア（三条市須頃1-17）

内 容：産業廃棄物の委託処理と委託契約、マニフェスト、帳簿作成 等

講 師：（公社）全国産業資源循環連合会 専任講師

参加者：60名

ウ（公社）全国産業資源循環連合会の人材育成プログラムにより実施する事業

eラーニング講座をホームページや機関誌に掲載し受講を会員等に促した。なお、2月に予定していた産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）は、感染症拡大防止のため中止とされた。

（ア）産業廃棄物処理eラーニング講座

講座名等：廃棄物処理法基礎、収集運搬現場業務、中間処理現場業務、最終処分現場業務の4講座

開講：春期 ① 5月11日～6月10日 ② 6月15日～7月14日

後期 ① 9月7日～10月6日 ② 10月12日～11月11日

③ 11月16日～12月15日 ④ 12月21日～1月20日

⑤ 1月27日～2月26日

（イ）産業廃棄物処理検定（廃棄物処理法基礎）新潟会場（中止）

（3）労働災害防止に係る研修

ア 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会

リスクアセスメントの導入促進のための研修会を開催した。

日 時：8月25日（火） 13時30分～16時30分

場 所：（公財）燕三条地場産業振興センター リサーチコア（三条市須頃1-17）

内 容：講義1 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントの必要性

講義2 リスクアセスメントの基本と実施に向けて

演 習 リスクアセスメントの体験

講 師：中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター 安全衛生管理士
 参 加 者：36名

イ 安全衛生実践活動推進研修

「安全衛生パトロール」、「安全衛生規程の作成」といった実践活動の進め方を周知し安全衛生活動を推進することを目的とした研修会を開催した。

日 時：11月17日（火） 13時30分～16時30分

開催場所：（公財）燕三条地場産業振興センター リサーチコア（三条市須頃1-17）

講 師：中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター 安全衛生管理士
 参 加 者：38名

(4) 電子マニフェストの普及促進

計画していた電子マニフェスト操作体験セミナーについては、感染症拡大防止のため中止とした。

(5) 新潟県から受託事業、県との共催事業

ア 産業廃棄物適正処理推進セミナー

排出事業者などに廃棄物処理法を理解する場を設けることで、産業廃棄物の適正処理意識の向上を図ることを目的として、講習会を県内各地で開催した。

なお、感染症拡大防止のため、例年より大型会場を確保したうえで参加定員を絞って実施。また、1月実施（長岡会場、十日町会場）の外部講師については、会場と講師をリモートでつないで講演を行う対応をとった。

令和2年度 開催日、開催市、会場、参加者数

開催日	開催市	会 場	参加者数
10月28日	上 越 市	ユートピアくびき希望館 第三会議室	48
10月29日	新発田市	新発田市生涯学習センター講堂	56
10月30日	佐 渡 市	佐渡市金井コミュニティセンター大集会室	36
11月12日	三 条 市	燕三条地場産業振興センター リサーチコア	81
11月13日	新 潟 市	新潟県建設会館 大会議室	64
1月25日	長 岡 市	長岡リリックホール シアター	95
1月26日	十日町市	道の駅クロステン十日町	47
合計	-	-	427

講演内容・講師

(ア) 新潟県地域振興局県民福祉環境部環境センター担当者
 （新潟会場は、新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課担当者）
 「産業廃棄物不法投棄の現状と対策」

(イ) 合同会社エコ・インテレクト 松本津奈子 氏 （上越、新発田、佐渡）
 銀座高岡法律事務所 弁護士 三浦謙吾 氏 （三条、新潟）

(公社) 全国産業資源循環連合会 専任講師 渡辺一法 氏 (長岡、十日町)
「産業廃棄物排出事業者の排出責任等」

* 渡辺講師については、リモート講演

イ 産業廃棄物処理業許可申請説明会

産業廃棄物処理業の許可申請を行う者を対象(*)に、申請書の作成方法に関する説明会を開催した。(※:更新許可申請を予定している会員にも案内を送付)

日 時: 9月14日(月) 13時30分~15時30分

場 所: 自治会館 別館 コンベンションホールゆきつばき
(新潟市中央区新光町4番地1)

内 容: 産業廃棄物処理業の許可申請手続きについて

講 師: 県廃棄物対策課 産業廃棄物係担当者

参 加 者: 28名(会員17名、非会員11名)

エ 会員企業が廃棄物処理法の内容で社内研修を実施する場合の講師を派遣することとしていたが、令和2年度は要望がなかった。

2 産業廃棄物処理体制の整備促進事業

(1) 産業廃棄物処理施設の整備促進

ア 新潟県産業廃棄物広域処理対策推進協議会に参画し、産業廃棄物の広域処理施設の整備促進に協力。

令和2年度は、上・中・下越の3地区に設置されている「地区産業廃棄物広域処理対策推進協議会」に、新潟県産業資源循環協会支部(以下、支部)の各支部長が構成員として参画した。

また、公共関与による産業廃棄物広域最終処分場の選定に向けた検討を行うため新潟県が設置した「上越地区における広域最終処分場候補地検討委員会」に、会長が委員として参画し、産業廃棄物の広域処理施設の整備促進に協力した。

イ (公財)新潟県環境保全事業団の運営に関して、会長が理事として参画し、廃棄物処理施設の運営に協力した。

(2) 適正処理の推進と不法投棄の防止

ア 県から産業廃棄物の適正処理の推進を図ることを目的とした「産業廃棄物排出事業者等適正処理意識向上事業」を受託し、県と共に排出事業者を対象とした講習会(産業廃棄物適正処理推進セミナー)を開催した。

具体的事業内容は、1(5)アに掲載(再掲)

イ 県の地域機関にある環境センター毎(6か所)に設置されている「地区廃棄物不法処理防止連絡協議会」に参画し、各支部が協議会主要構成員として廃棄物の不法処理防止活動に協力した。

ウ 不法投棄廃棄物の撤去事業を実施する支部に対し特別助成を行うこととしているが、令和2年度について、助成実績はなかった。

(3) マニフェストシステムの普及啓発

ア 紙マニフェストの頒布の継続実施

令和2年度マニフェストの頒布量は383,400セットとなり、前年度の80%となった。

イ 電子マニフェストの導入

ホームページにおいて、その仕組みを周知した。なお、予定していた操作体験セミナーは中止となった。

3 調査研究事業

(1) 産業廃棄物処理及びリサイクルに関する調査

(公社) 全国産業資源循環連合会等が行う会員向けの調査に対し協力を行った。また、新たに県の依頼を踏まえ、会員等を対象とした「再生骨材等在庫量調査」を開始した。

(2) 全国調査への協力

(公社) 全国産業資源循環連合会が実施する各種の実態調査に協力し、情報の収集と蓄積に努めた。

4 災害廃棄物処理体制の整備

新潟県と締結した災害廃棄物の処理協定に基づく支援活動を円滑に進めるため、県との行政懇談等において、災害廃棄物処理に関する意見交換を行った。また、(公社) 全国産業資源循環連合会や同地域協議会の会議において、各県協会の取り組み等について情報交換を行った。

更に、平時から災害廃棄物処理に関する取り組みを進め、災害発生時に中心的な役割を担う組織として「災害廃棄物委員会(仮称)」を協会内に組織すべく、令和2年度に準備委員会を立ち上げ、協議を行うとともに、会員に対する「資機材アンケート調査」を実施した。

5 広報事業

(1) 機関誌の発刊

機関誌「循環協にいがた」の第2号を発刊し、会員、関係機関及び団体等に送付した。

(2) 協会ホームページの充実、活用

新たな協会ホームページ及び会員向けのメール配信サービスの本格運用を10月に開始。随時、各種情報を掲載し提供を行った。

(3) 適正処理啓発広報事業

県の補助金を活用して、産業廃棄物の適正処理などの啓発を目的に広報資材の作成を行った。「産業廃棄物の適正処理」、「PCB廃棄物の処理期限の周知」等をテーマとしたタペストリー及びクリアファイルの作成を行い、当協会の講習会での配布や新潟県の環境フェスティバルに

おける配布物としての活用を図った。

6 処理業振興事業

(1) 処理業啓発用資料の活用

廃棄物処理法に関する啓発用資料として平成30年度に作成した「よくわかる廃棄物処理法のポイント」の更新版を調達し、新任者研修会の資料として活用した。

また、5(3)で作成したクリアファイル等を活用して「産業廃棄物の適正処理」等の普及啓発活動を行った。

(2) 会員名簿の作成

令和2年度版の会員名簿を作成し、国、県、市町村及び関係機関へ配布した。

また、当協会ホームページに会員検索システムを載せるための検討及びデータベース化を進めた。

(3) 地球温暖化対策のための取り組み

(公社)全国産業資源循環連合会が作成した低炭素社会実行計画に基づき、連合会と歩調を合わせて取り組んだ。

また、県の地球温暖化対策の取り組み等を機関誌、ホームページに掲載することで、普及啓発活動に取り組んだ。

(4) 資源循環の推進

リサイクル製品の利用促進に向けて、関係機関との協議を行うなどして推進に努めた。

・令和2年度行政懇談会(令和2年11月18日)

・自由民主党の令和3年度県当初予算に対する政策的要望の項目のなかに「リサイクル品の利用促進について」を提出し趣旨説明を行った。

また、県からの依頼を受けて、新たに定期的な再生資源(再生砕石RC-40等)在庫量を把握する調査を開始した。

(5) 労働災害防止事業

年度当初に全産連の第2次労働災害防止計画を踏まえ、令和2年度労働災害防止計画を策定した。同計画に基づき、労働災害防止対策を推進するための各種事業を展開し、会員の安全衛生水準の底上げを図った。また、年度末にはこれまでの状況を踏まえた、令和3年度計画の策定を行った。

*令和2年度の主な取り組み

① 機関誌等に関連記事を掲載。計画内容等を会員に周知。

② (公社)全国産業資源循環連合会が作成したポスターを会員に配布。

③ 上記の労働安全衛生ポスターを、新潟労働局、新潟県及び新潟市の協力を得て、窓口に掲示するなど、協会会員以外の産業廃棄物処理業者に対する啓発活動を実施。

④ リーフレットを講習会参加者等に配布。

⑤ 当協会の会員専用ホームページに支援ツールを掲載。

- ⑥ リスクアセスメント推進研修会を開催（8月25日）に開催。また、（公社）全国産業資源循環連合会が作成した支援ツールを用いた「安全衛生実践活動推進研修会」（11月17日）を開催。
- ⑦ 会員における安全衛生活動の現状調査を実施。
- ⑧ 定期的に処理業振興委員会（安全衛生分科会）を開催、協議検討。
- ⑨ 「安全衛生ポケット・マニュアル」を会員に周知。

7 相談指導・連携事業

(1) (公社) 全国産業資源循環連合会との連携・協力

令和2年度は、次の会議等へ参加するなどの取り組みを行った。

ア 理事又は委員会等就任状況及び委員会開催状況

青木会長 : 中間処理部会運営委員会 (委員)

曾根副会長 : マニフェスト推進委員会 (委員)

小林専務理事 : 災害廃棄物委員会 (委員)

・ 中間処理部会運営委員会 : 令和2年12月1日 (火) (青木委員Web会議出席)

・ マニフェスト推進委員会 : 令和2年4月20日 (月) (中止)

(同委員会は年度内非開催)

・ 災害廃棄物委員会 : 令和2年4月14日 (火) (小林委員Web会議出席)

令和2年7月28日 (火) (同上 Web会議出席)

イ 会議等開催状況

・ 定時総会 : 令和2年6月29日 (書面)

・ 全国正会員事務局責任者会議 : 令和2年9月16日 (書面)

令和3年2月5日 (金) (Web会議)

・ 産業廃棄物と環境を考える全国大会 : 令和2年11月 (東京都)・・・中止

・ 新年賀詞交歓会 : 令和3年1月 (東京都)・・・中止

・ 全国正会員会長・理事長会議 : 令和3年2月 (徳島県)・・・中止

・ 講習会事務取扱説明会 : 令和3年2月22日 (月) (Web会議)

ウ 信越・北陸地域協議会関連事業

① 第62回地域協議会 : 令和2年4月8日 (水) (幹事県福井県) (書面)

② 第63回地域協議会 : 同 9月25日 (金) (石川県) (書面)

③ 地域協議会事務局長会議 : 同 12月10日 (木) (富山県)

④ 地域協議会事務職員研修会 : 同 12月11日 (金) (新潟県)

(2) 関係団体・関係機関との連携強化

ア 関係団体・関係機関との連携を一段と強め、情報の交換・収集に努めると共に事業の実施について相互に協力するよう努める。

令和2年度における具体的な取り組みは次のとおり

- ① (公財)新潟県環境保全事業団(理事:青木会長)
 - ・理事会:令和2年9月3日(木)
 - ・同:令和3年3月29日(月)
- ② (公財)新潟県暴力追放運動推進センター(評議員:青木会長)
 - ・定時評議員会:令和2年6月2日(火)
- ③ 新潟県環境保全連合会(会員)
 - ・通常総会:書面
- ④ 新潟県産業廃棄物不法投棄監視県民ネットワーク会議(構成員)
 - ・会議:令和2年12月21日(月)
- ⑤ 新潟県アスベスト対策技術連絡会議(構成員)
 - ・会議:令和2年12月1日(火)
 - ・研修会:Web
- ⑥ 下越地区産業廃棄物広域処理対策推進協議会
(委員:新発田、新潟の各支部長)
 - ・総会:令和2年7月 書面
- ⑧ 中越地区産業廃棄物広域処理対策推進協議会
(委員:県央、長岡、三魚沼の各支部長)
- ⑨ 上越地区産業廃棄物広域処理対策推進協議会(委員:上越支部長)
- ⑩ 新潟県産業廃棄物不法処理防止連絡協議会(構成員:青木会長)
- ⑪ 各地区廃棄物不法処理防止連絡協議会(委員:各支部長)
 - ・下越地区廃棄物不法処理防止連絡協議会(新発田支部)
 - ・県央地区廃棄物不法処理防止連絡協議会(県央支部)
 - ・長岡・柏崎地区廃棄物不法処理防止連絡協議会(長岡支部)
 - ・魚沼地区廃棄物不法処理防止連絡協議会(三魚沼支部)
 - ・上越地区廃棄物不法処理防止連絡協議会(上越支部)
 - ・佐渡地区廃棄物対策連絡協議会(佐渡支部)
- ⑫ 新潟県フロン回収推進協議会(構成員)
- ⑬ 新潟商工会議所(会員)
- ⑭ 新潟県過積載防止対策協議会(構成員)
- ⑮ 新潟県廃木材リサイクル推進協議会(構成員)
- ⑯ 新潟県交通安全対策連絡協議会(賛助会員)
 - ・総会:書面

イ 循環型社会形成関連制度の整備など複雑化する産業廃棄物の処理システムに対応するため、関係団体・関係機関とのより広汎な連携を進める。

・県主催の「にいがた環境フェスティバル2020」の後援及び展示物提供

令和2年11月8日(日) 万代島多目的広場(新潟市中央区)

(3) 照会・相談等への対応

会員はもとより、非会員からの照会・相談等に対応した。

ア 社内・外研修会等の講師派遣

令和2年度実績無し。

イ 照会・相談等への対応

照会・問い合わせは、極めて多岐にわたったが、処理業許可申請等講習会、マニフェスト、業者紹介、委託契約書に関するものが主なものだった。

(4) 県、県議会関係者との意見交換

ア 行政懇談会の開催(出席者は県廃棄物対策課長及び担当者と協会の理事)

令和2年11月18日(水) 新潟グランドホテル

- ・産業廃棄物行政の現状と課題
- ・協会質問等事項に関する県の回答

イ 県予算・事業等に対する要望

自由民主党新潟県支部連合会による令和3年度県予算に対する要望に、6月、9月にそれぞれ①リサイクル品の利用促進、②産業廃棄物処理施設の整備促進、③優良産廃処理業者の育成の推進、④排出事業者の産業廃棄物適正処理意識向上に向けた施策推進、⑤新潟県産業廃棄物税の使途、⑥災害廃棄物処理に関する支援体制の強化の6項目を提出した。

なお、この要望内容は令和2年11月19日(木)に開催された予算要望説明会において趣旨の説明を行った。

8 社会貢献事業

環境関連事業を通じて社会参加をしている一員として引き続き環境関連や社会福祉等の活動団体への寄付をもって社会活動を高めることを目的に、令和2度は朱鷺の野生復帰などを支援している新潟県とき保護募金や知的発達障害のある人たちのスポーツ活動を支援しているスペシャルオリンピックス日本・新潟へ、それぞれ3万円を寄付した。

9 一般事業

(1) 委員会の推進

各理事が分担して委員会を構成し、企画立案調査等の業務を実施した。

具体的な委員会等の開催状況は次のとおり

ア 総務企画委員会

① 令和2年4月2日(木) 花のめ会議室

- ・令和元年度事業報告について
- ・任期満了に伴う役員選任に関する件について

- ・令和2年度通常総会等の対応について
- ・令和2年度労働災害防止計画（案）について
- ② 令和2年6月16日（火）協会会議室（会長・支部長会議として開催）
 - ・理事会に向けた議案調整について
 - ・災害廃棄物委員会（仮称）の設立準備について
 - ・県予算に対する自民党への要望について 等
- ③ 令和2年11月10日（火）協会会議室
 - ・県との行政懇談会の意見について
 - ・再生資源（再生砕石RC-40 等）在庫量調査について
 - ・社会貢献事業（寄付金）の実施について
- ④ 令和3年2月25日（木）協会会議室
 - ・令和3年度各表彰候補者等について
 - ・令和3年度通常総会の計画（案）について
 - ・令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
 - ・令和3年度労働災害防止計画（案）について

イ 広報委員会

- ① 令和2年7月9日（木）協会会議室
 - ・副委員長の選任について
 - ・機関誌「循環協にいがた」の編集方針について
 - ・広報活動に関する事業予定等について
- ② 令和2年9月16日（水）協会会議室
 - ・機関誌「循環協にいがた」の編集について
 - ・適正処理啓発広報事業について
- ③ 令和3年2月17日（水）協会会議室
 - ・令和2年度事業実施状況について
 - ・令和3年度事業計画について

ウ 処理業振興委員会

- ① 令和2年7月7日（火）協会会議室
 - ・副委員長の選任について
 - ・安全衛生分科会委員の選任について
 - ・講習会・研修会事業の実施状況について
 - ・処理業振興事業関係の進捗状況等について
- ② 令和2年10月20日（火）協会会議室
 - ・講習会・研修会事業実施進捗状況について
 - ・処理業振興事業関係の進捗状況等について
 - ・令和3年度処理業振興事業計画策定に向けた課題の整理等について
- ③ 令和3年2月9日（火）協会会議室
 - ・処理業振興事業実施状況について

- ・令和3年度の事業計画（案）について
- ・令和3年度労働災害防止計画（案）について

エ 災害廃棄物対策準備委員会

- ① 令和2年11月9日（月）協会会議室
 - ・大規模災害対応に関する論点整理及び今後の進め方について

オ 正副会長会議

随時、正副会長会議を開催し、協会の運営と協会事業の推進にあたった。（4月2日）

(2) 支部の活動に対する助成

- ア 協会の関連団体である支部が実施する産業廃棄物の適正処理の推進に係る事業活動に対し助成を行い、県内各地における啓発活動等の活性化を図った。
- イ 不法投棄廃棄物の撤去事業・再生利用の促進に関する事業を実施する支部に対して特別助成を行うこととしているが、2年度は、要望が無かった。

(3) 青年部会活動への支援

青年部会が実施する事業に対する助成により活動を促した。

(4) 協会組織の強化

- ア 県との共催による講習会や処理業許可申請講習会等の機会を活用して新規会員の拡大に努めた。
- イ 未加入の処理業者に対しては引続き協会への加入を勧誘した。講習会の場を活用して協会の活動を説明するとともに、随時、窓口来訪者に案内を行うなどの勧誘に取り組んだ。
- ウ 産業廃棄物関連事業所に対して、賛助会員の入会を勧誘した。

(5) 顕彰事業

協会の表彰規程に基づき、功労者、優良事業所及び優良従事者の協会表彰を行うとともに、(公社)全国産業資源循環連合会の表彰規則に基づく功労者、地方功労者、地方優良事業所及び優良従事者の表彰に対して候補者を推薦した。

ア 協会会長表彰

令和2年6月3日（水）の通常総会にあわせて、次の会員を会長から表彰した。
なお、感染症拡大防止対応のため、表彰式は中止とした。

① 功勞者表彰（7名）

（敬称略）

氏名	会社名	支部
金子 良治	(株)日本建機	新 発 田
石山百合子	(株)石山商店	新 潟
浅野 勇	(有)アサノ産業	県 央
伴 勲	宝砂利(株)	長 岡
林 隆生	(株)丸共	
長谷川茂徳	高木沢企業(株)	三 魚 沼
小池 作之	上越マテリアル(株)	上 越

② 優良事業所表彰（8社）

（敬称略）

事業所名	代表者名	支部
アイビス技建(株)リサイクル工場	井澤 一昭	新 発 田
リンコー運輸(株)	諸橋 寧	新 潟
(株)西川クリーナー	水野 将道	
(公財)新潟県環境保全事業団	関根 繁明	
エヌ・ピー・アール(有)	尾形千鶴子	県 央
(株)諸橋砂利	諸橋 陽一	長 岡
クラッシングセンター(株)	桐生泰一郎	三 魚 沼
吉沢運送(株)直江津営業所	吉澤 清次	上 越

③ 優良従事者表彰（10名）

（敬称略）

氏名	事業所名	支部
武藤 仁	小柳産業(株)	新 発 田
安宅 友之	(有)ムネケン	新 潟
橋本 幸広	(株)小山セメント工業所	
西潟 繁幸	(株)丸正土木	県 央
土田 英俊	(株)長谷川興産	
藤田 金一	(株)新潟ディーゼル工業	長 岡
須佐 晃	(株)小出環境サービス	三 魚 沼
田原 美人	関原開発建設(株)	上 越
上原 正道	鴻池運輸(株)鹿島支店 業務第一部直江津営業所	
阿部 昌章	市川工業(株)	

イ (公社) 全国産業資源循環連合会会長表彰

協会が推薦した次の会員が、令和2年6月に(公社)全国産業資源循環連合会会長表彰を受賞した。

① 功労者表彰 (1名) (敬称略)

氏名	事業所名	支部
田村 雄作	環境技研(株)	新潟

② 優良事業所表彰 (該当なし)

③ 地方功労者表彰 (5名) (敬称略)

氏名	事業所名	支部
本間 克也	(株)不二産業	新潟
中村 信一	北興商事(株)	県央
諸橋 陽一	(株)諸橋砂利	長岡
青木 弘	(株)元店建設	三魚沼
猪又 一義	カネヨ運輸(株)	上越

④ 地方優良事業所表彰 (4事業所) (敬称略)

事業所名	代表者名	支部
山隆リコム(株)	伊藤 傑	新発田
小形商工(株)	古田島裕一	新潟
(株)小林工業所	小林 一清	
上越運送(株)	古海 正雄	上越

⑤ 優良従事者表彰 (9名) (敬称略)

氏名	事業所名	支部
星野 雄	曾根建(株)	新発田
小山 幸二	(株)カエツ工業	
藤岡 勝	(株)新潟ゴム商会	新潟
小林 久史	三条運輸(株)	県央
小林 孝二	(株)丸共	長岡
南雲 洋吉	(株)村山興業	三魚沼
坂牧 早苗	北越産業(株)	
倉上 義男	(株)エコシステム	上越
小熊 悟氏	飛田テック(株)	

(6) 適正な協会運営の実施

総会、理事会を定期的実施し、協会運営を円滑かつ的確に実施した。

令和2年度は、通常総会及び4回の理事会（書面による対応を含む）を開催した。

また、会員の移動状況は次のとおり。

ア 会員の状況

令和3年3月31日現在 正会員492社、賛助会員25社、合計517社

○令和2年度入退会状況

正会員	入会	1社	退会	10社	減	9社
賛助会員	入会	1社	退会	0社	増	1社

イ 通常総会の開催

(ア) 開催日時 令和2年6月3日（水）午後2時から

(イ) 開催場所 新潟県自治会館201会議室

(ウ) 出席正会員 20社（議決権行使書による出席420社）

(エ) 議 事

- ① 2019年度事業報告の件
 - ② 2019年度決算報告の件
監査報告
 - ③ 任期満了に伴う役員改選に関する件
- 報 告 事 項
- ① 令和2年度事業計画に関する件
 - ② 令和2年度収支予算に関する件

ウ 理事会の開催

- ① 第1回理事会 令和2年4月24日付け書面による対応
 - ・令和2年度通常総会の開催方法（書面表決の実施）承認の件
 - ・令和2年度通常総会への提出議題承認の件
 - 第1号議案 2019年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 2019年度決算報告承認の件
 - 第3号議案 任期満了に伴う役員選任に関する件
 - ・令和2年度労働災害防止計画承認の件
- ② 第2回理事会 令和2年6月25日（木）新潟県自治会館
 - ・会長、副会長及び専務理事の選任について
 - ・委員会の委員選出について
 - ・災害廃棄物委員会（仮称）の設立に向けた準備委員会の立ち上げについて
 - ・県予算に対する自民党への要望提出について
 - ・会員の入退会について
 - ・令和3年度総会の日程について
- ③ 第3回理事会 令和2年11月18日（水）新潟グランドホテル

(行政懇談会と同日実施)

- ・ 県との行政懇談会の意見について
- ・ 再生資源（再生砕石RC-40等）在庫量調査について
- ・ 社会貢献事業（寄付金）の実施について
- ・ 賛助会員に関する入会手続要領の変更について

④ 第4回理事会 令和3年3月16日（火）新潟県自治会館

- ・ 令和3年度各表彰候補者（案）について
- ・ 令和3年度通常総会の計画（案）について
- ・ 令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ・ 令和3年度労働災害防止計画（案）について
- ・ 会員の入退会について

(7) その他

ア 処理業許可申請等講習会受講案内の送付

更新講習会受講が必要と見込まれる会員に対し「更新講習会受講のご案内」を送付した。また、ホームページを通じて講習会日程等の周知に努めた。

イ 処理業許可更新期日到来の通知

許可期限の3ヶ月前となる会員に、更新期日の到来を通知した。

ウ 新型コロナウイルス感染症対応に関する対応

(ア) 新潟県及び新潟市に対する要望

令和2年4月20日付で、感染症拡大に伴う廃棄物処理の事業継続が損なわれることの無いよう、①感染性廃棄物専用プラスチック容器での排出を指導願いたいこと、②資機材不足に対して、備蓄量を増やすなどの対策の重要性を十分周知願いたいこと。③宿泊療養施設管理者等に対し、感染性廃棄物の処理に準拠した取り扱いを指導願いたいことの3項目を、新潟県及び新潟市の廃棄物対策課長に対し要望書を持参し、その主旨を説明した。

(イ) 会員等に対する情報提供

全産連が策定公表している「産業廃棄物処理業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を機関誌、ホームページ等で周知するなど、随時、国、地方自治体、全産連等からの関連情報をホームページに掲載して周知を図った。

(ウ) 事業継続に必要な資機材の調査等

不織布マスクや消毒剤の入手が難しくなっている状況を踏まえ、全産連の現状把握調査に協力した。また、全産連から提供された情報を基に、会員に対する不織布マスクの斡旋を行った。